

No

32



平成18年度 女性建築士の集い

おかげ様で1月に冊子が発行されて大好評を得ていますが、冊子発行の次のステップとして冊子を教材にしたセミナーを企画致しました。今回は子育て中の方にぜひ参加して頂きたい内容となっておりますので、会員の皆様 お子様と一緒に出かけませんか。会員以外の参加も受付けていますのでお知り合いの方もお誘い下さい。（託児あり・・・0～3才未満児 先着10名）

***** テーマ 子供をはぐくむ家づくり *****

- と き** 平成18年6月5日(日) AM10:30 ~ PM2:30
- と ころ** エルプラザ札幌 大研修室(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内)
- 参加対象** 会員 一般(子育て世代の親子中心に)
- 参加費** 無料(資料代 冊子実費 購入済の人は持参)
- 受講内容**
- ・午前の部
 - *大人・・・セミナー1 講師:工藤美智子氏「遊びの世界から見た家づくり」
ワークショップ「家族が共有できる空間について」
 - *子供・・・一人語り芝居 体験講座(お絵描き・折り紙・あやとり等)
 - ・ランチタイム お琴のライブと語り
 - ・午後の部
 - *大人・・・セミナー2 講師:山元規子氏「家族の役割と住まいづくり」
 - *子供・・・ミニ英会話講座体験講座(お絵描き・折り紙・あやとり等)



平成17年全国女性建築士連絡協議会(全体会)報告 山本 明恵

昨年12月2、3日の両日、香川県高松市サンポートホール高松にて280名の参加を得、平成17年全国女性建築士連絡協議会が開催されました。平成13年より「地域と共生する居住環境づくり」をメインテーマとして居住環境をとりまく様々な課題をとりあげて提案や提言を行ってきました。今回は開催地が初めての四国香川県であることを意識し、サブテーマを「身近な素材を未来へつなぐ」と題して全大会では地域の資源や素材を活用されている専門家によるシンポジウムを行いました。各地域から集まった参加者がこれを機に地元の身近な素材を見直し住まいづくり、環境づくりに活かして使う事を考えるシンポジウムになりました。北海道にも道産木材やホタテ貝殻等を利用した珪藻土もあり、これらの資源を有効に、素材を大切に活用しながらものづくりを考えなければならないと感じた全大会でした。

全国女性建築士連絡協議会 サポートホール高松 道北ブロック 山原 加津子

C分科会 健康住宅 12月3日 9:00~11:00 6階 64会議室 参加者26名

問題提起(宮城、広島)

宮城土会~ アセトアルデヒド指針値問題のこの発端、アセトアルデヒドのWHOガイドライン値の問題点
厚生労働省の指針値は変わらないが、国土交通省関連の基準からは削除され、当面アセトアルデヒドは除外という状況になっている。

厚生労働省の室内濃度に関する指針値では、アセトアルデヒドについては、48マイクログラム/m³となっていますが、今後改定される模様です。

意見交換 換気の給気口、排気口調査では0.5回の換気も空気に色を付けて換気してみないと本当に入れ替わっているのか?分からないという意見、又 カナダ産ホワイトウッドは白蟻に食べられやすく、危険と言う情報もありました。

- まとめ
- ・掃除のできる換気システムにする。
 - ・自然素材のメンテナンス
 - ・ 施主への説明 合意の元で話し合いをする。



高松港のシーフードレストラン

函館支部 女性委員会

道南Aブロック 大槻 恒世

函館市中央図書館小研修室を利用して委員会を開きました。図書館は 五稜郭公園に沿った道に面して三角形の敷地に建てられ H17年11月にオープンしました。5月には窓から桜をめでながら読書を楽しめる最高の環境となります。まずは、館内見学をしました。もうすっかり利用者が馴染んでいるといった感じです。喫茶コーナー、視聴覚室ホールもありなかなか充実しています。また、開架書架は 建築関係誌、女性向住宅インテリア雑誌なども豊富です。建築のコーナーでも読みたかった本を発見しました。これからの利用が楽しみです。この機会に利用登録した方もいました。さて、小研修室に戻り 建築士会会員・女性・生活者としての意識を話題にしてみました。たとえば、スーパーにマイバッグを持っていくかどうか。食品添加物等をチェックしながら買い物をしているか、農産物は農薬の使用など問題としているか、などです。これは 安全な住まいという意識をもっているかにつながると思います。この後、移動して懇親会を開きました。参加者は9名でまずはホットしました。



中央図書館小研修室



懇親会